

産業ナノマテリアル研究所 キックオフシンポジウム

3月9日(火)

対面：百周年記念館、遠隔：Zoomにより配信

9:30

開会の挨拶

熊本大学 学長 原田 信志
熊本大学 研究・地方創生担当 (副学長) 松本泰道

研究発表 1

9:40-10:00 「二次元ナノ材料開発における界面自己組織化」 熊本大学 國武雅司
10:00-10:20 「データ駆動科学による材料研究の新展開」 熊本大学 赤井一郎
10:20-10:40 「二次元炭素材料の電気化学デバイス・バイオマス変換への応用展開」
熊本大学 木田徹也

研究発表 2

10:50-11:10 「爆発・衝撃を利用した新規材料プロセス技術の紹介」
熊本大学 外本和幸
11:10-11:30 「Non-invasive vaccine/drug/nanoparticle delivery by microfluidics of shock and ultrasonic waves」 Kumamoto Univ. Prof. Hamid Hosano.

融合研究成果発表 1

11:30-11:40 「反応サイトが制御された貴金属ドーパナノシート触媒の開発」
熊本大学 大山順也
11:40-11:50 「フェムト秒光パルスを用いた新規炭素物質の創出」
熊本大学 小澄大輔
11:50-12:00 「銀/酸化ハイブリットナノシートの作製と抗菌作用の評価」
熊本大学 鯉沼陸央

特別講演

13:00-14:00

「ナノマテリアル研究の新展開!? トポロジカルから 2.5 次元まで」
東京工業大学 笹川崇男 先生

ナノシート基盤研究成果発表

14:00-14:20 「酸化窒化物ナノシートの合成とその機能開発」 熊本大学 伊田進太郎
14:20-14:40 「酸化グラフェンのバイオ分野への応用」 熊本大学 速水真也

融合研究成果発表 2

14:50-15:00 「パルスパワーを利用した 2 次元カーボンレイヤーの作製法の開拓」
熊本大学 吉本惣一郎
15:00-15:10 「グラフェン基ナノシートにおけるトポロジカル量子相の検証」
熊本大学 横井裕之
15:10-15:20 「大気圧成膜による酸化物を用いた創エネ・省エネ用デバイスの開発」
熊本大学 中村有水
15:20-15:30 「衝撃力を利用した表面ナノ構造制御による残留応力制御技術の開発」
熊本大学 黒田雅利
15:30-15:40 「有機溶媒分散グラフェン量子ドットの調製とその抗菌活性」
熊本大学 新留琢郎

————— 第二部 (遠隔開催のみ) —————

16:00-16:30 共同研究成果発表 (Remo を利用したポスター発表)
22 件の共同利用研究者からのポスター発表
(Remo アドレス: <https://live.remco.co/e/iina-1>)

16:35-16:55

若手研究者発表

「酸化グラフェンを用いた多機能デバイスの開発」
熊本大学 畠山一翔

16:55-17:00

閉会の挨拶 副所長 伊田進太郎

問い合わせ先：産業ナノマテリアル研究所
伊田進太郎 ida-s@kumamoto-u.ac.jp